

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。



変更 アームストッパーが上框に工場付けになりました。枠側への取付方法は、2ページを参考に取付けてください。

注意

- 反り、変形等防止のため、直射日光に当たった状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
- 樹脂は割れたり、傷ついたりしやすいため、乱暴に扱わないでください。
- 樹脂をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 保管・輸送の際は、直接荷重がかからないようご配慮ください。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤溶液を使用し、有機溶剤のご使用は避けてください。

お願い

- 商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
- 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。
- 商品の取付の際は所定のねじを使用して適正なトルクで締め付けてください。また、ねじを締めすぎると樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮させることができません。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。調整不良は操作不良や異常音の原因になります。
- 組立・施工の後にドアの開閉動作を確認してください。
- 取扱説明書・使い方＆お手入れガイドブックを施主様にお渡しください。

本説明書は専門知識を有する組立・施工業者様向けの内容となっております。商品の不具合や組立・施工には危険が伴いますので、組立・施工は専門知識を有する組立・施工業者様が行ってください。

本取説は組立タイプの商品ですが、溶着タイプでも枠の施工、吊込み、調整方法は同じです。

チェックシート

組立・取付時、下記項目の確認をしてください。

項目	チェック欄
① トルク調整をしましたか？	
② 取付時、ねじれ・倒れはありませんか？	
③ 障子吊込み後、軸芯棒操作レバーが上がっている事を確認しましたか？	

同梱包部品一覧

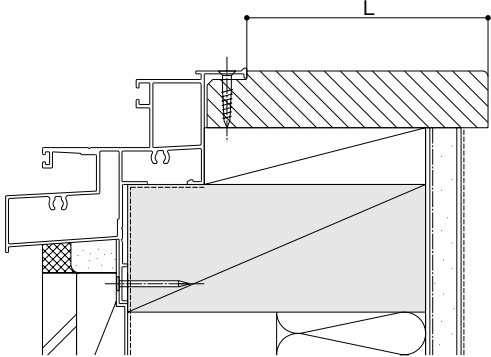
番号	①	②	③	④	⑤
姿 図					
品 名	小トラスタッピンねじ2種 (φ4×35)	穴塞ぎキャップ	たて枠キャップ	丸木ねじ (φ3.5×25)	皿タッピンねじ1種 (φ4×25)
品 番	BM-4035G	K-38558	K-32498	WR-3525	AF-4025D7
個 数	8	8	4	10	2
備 考	障子組立用	障子組立用	障子組立用	枠取付用	アームストッパー取付用

ガスケット一覧

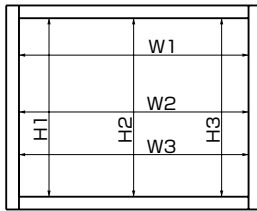
使用ガラス厚	姿 図	品 番	部品色	備 考
3mm、4mm		K-6426		
5mm		K-20358	YW(ホワイト) P6(木目)	同 梱
6mm		2K-23671		

1. 開口部の確認

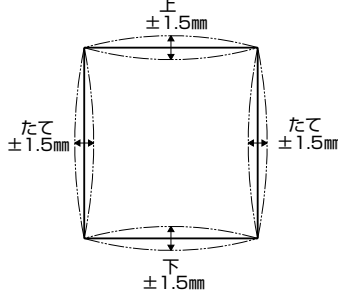
① 見込み寸法Lは最低73mm必要です。これより小さい場合は、ふかし枠を使用してください。



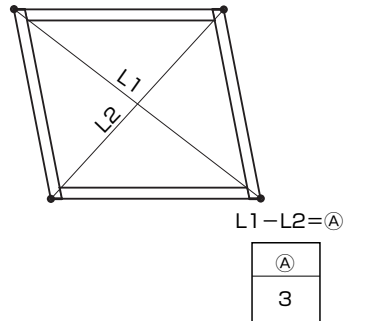
② H1~H3およびW1~W3の最低3ヶ所を採寸し、最小寸法をW、H寸法としてください。



● 上下左右のたわみが図に示す範囲内であることを確認してください。



● 枠の対角差が3mm以内であることを確認してください。



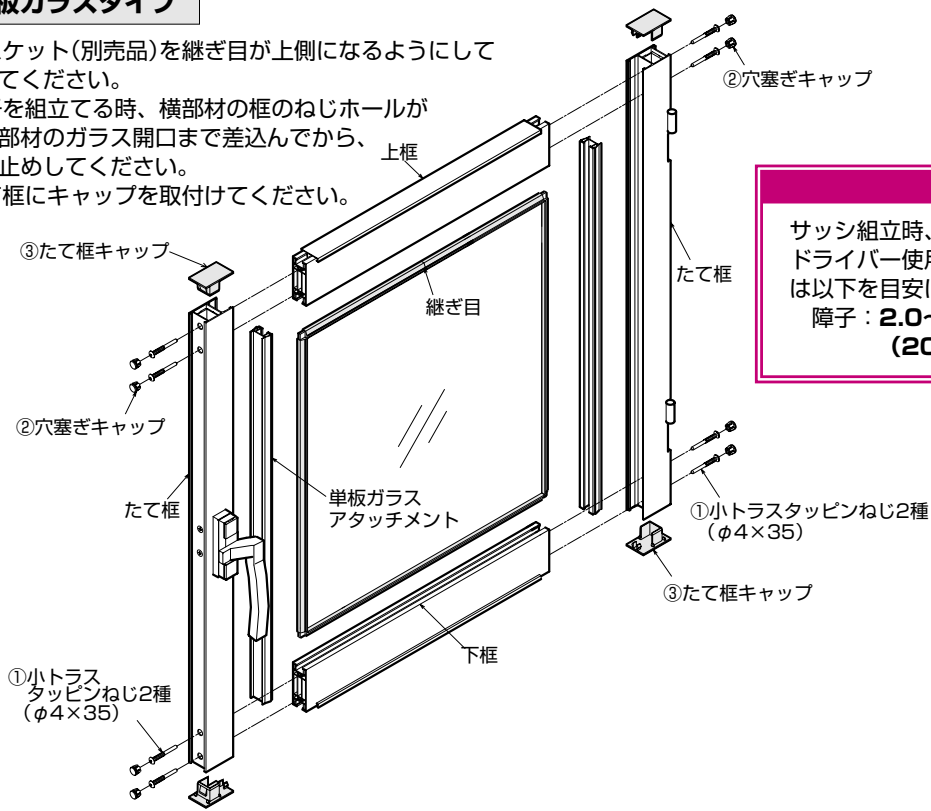
ポイント

- 施工時にすき間がある場合は、シーリング材でふさいでください。
- 開口部のたわみ量が範囲を超えている場合は、枠との間にスペーサを入れて調整してください。その際、できたすき間は、シーリング材でふさいでください。

2. 障子の組立

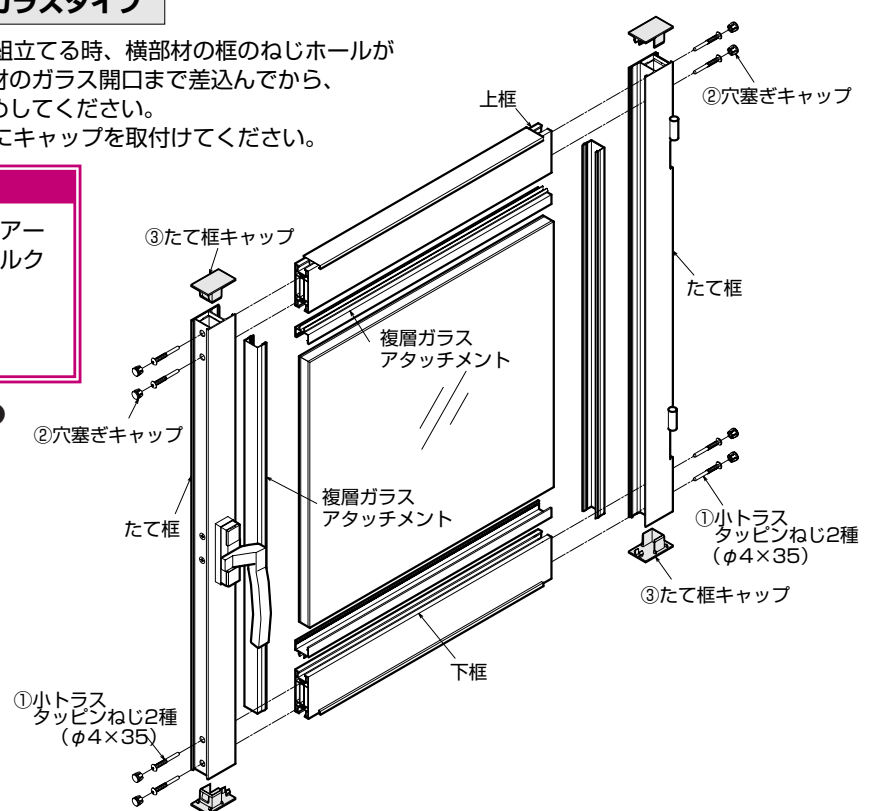
■単板ガラスタイプ

- ① ガスケット(別売品)を継ぎ目が上側になるようにして巻いてください。
- ② 障子を組立てる時、横部材の枠のねじホールがたて部材のガラス開口まで差込んでから、ねじ止めしてください。
- ③ たて枠にキャップを取付けてください。



■複層ガラスタイプ

- ① 障子を組立てる時、横部材の枠のねじホールがたて部材のガラス開口まで差込んでから、ねじ止めしてください。
- ② たて枠にキャップを取付けてください。

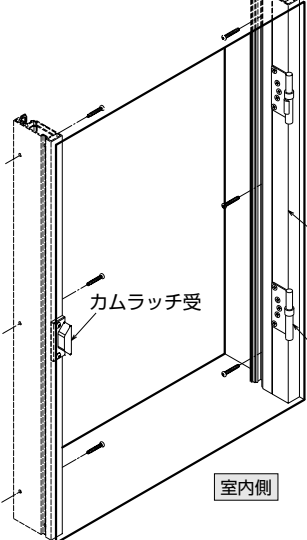


注意

サッシ組立時、電動ドライバー・エアードライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
障子：2.0~2.5N・m (20~25kgf・cm) 程度

3. 枠の取付

1. たて枠の取付

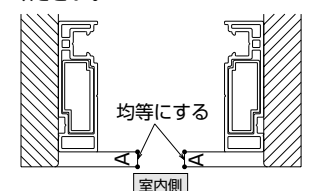


注意

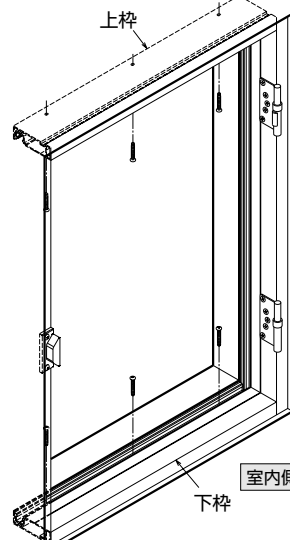
- サッシ取付時、電動ドライバー・エアードライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
樹脂枠：1.0~1.5N・m (10~15kgf・cm) 程度
- サッシ取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

ポイント

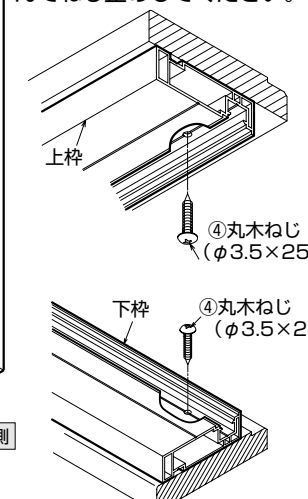
たて枠の位置は窓枠室内側からの寸法Aが均等になるようにしてください。



2. 上・下枠の取付

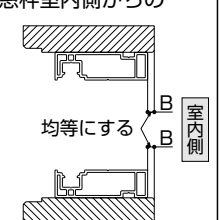


上・下枠を図のようにはめ込んでねじ止めしてください。

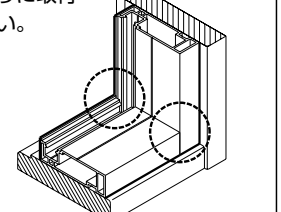


ポイント

● 上・下枠の位置は窓枠室内側からの寸法Bが均等になるようにしてください。

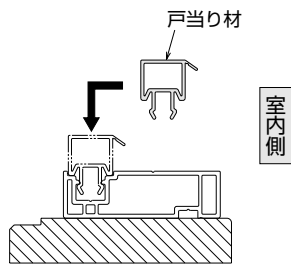
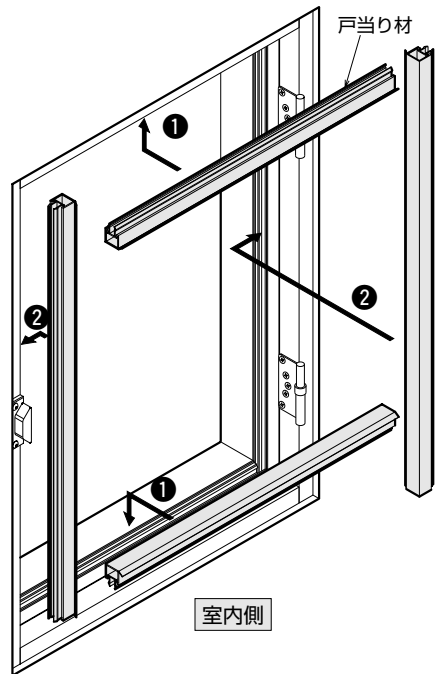


● たて枠と上・下枠のつなぎ目に段差ができないように取付けてください。



4. 戸当り材の取付

① 戸当り材は横通しになっていますので上・下→たての順に取付けてください。

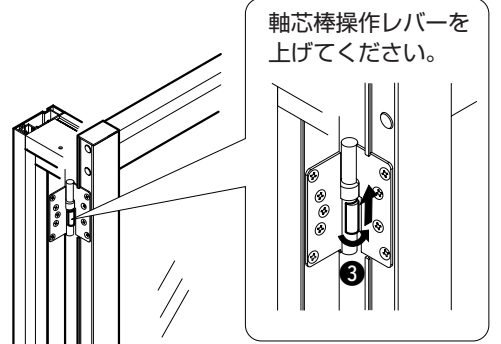
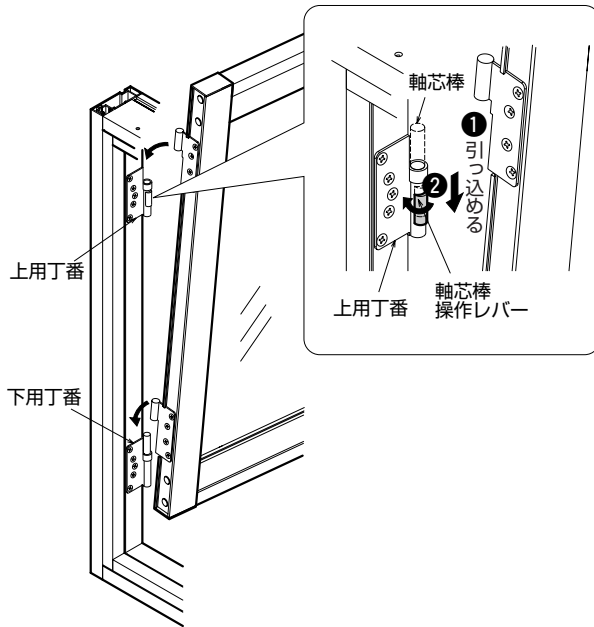


お願い

- 樹脂面をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 戸当り材は、たて用、横用各々2本ずつあります。たて用と横用で長さが異なりますので、確認して取付けてください。

5. 障子の吊込み

① 下用丁番から差込んでください。
あらかじめ、上用丁番は、軸芯棒を引っ込めておいてください。
② 次に、障子をまっすぐに立てて上用丁番の位置合わせをしてから、軸芯棒操作レバーを解除し、軸芯棒を障子側丁番に挿入してください。



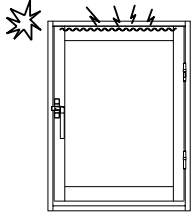
注意

障子の吊り込み後、必ず軸芯棒操作レバーが上がっている事を確認してください。
障子脱落のおそれがあります。

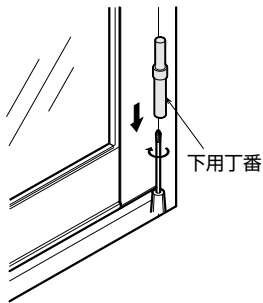


6. 調整

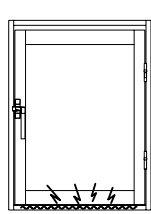
障子の上部が枠に当たる



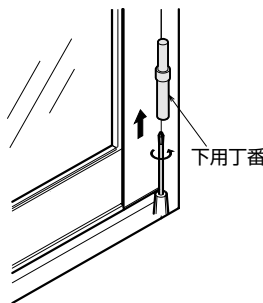
下用丁番の上下調整用ねじを左に回すと、障子は下がります。
下へ最大2.5mm



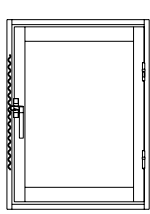
障子の下部が下をこする



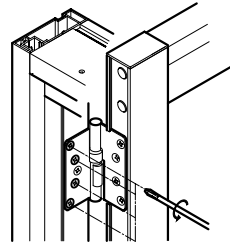
下用丁番の上下調整用ねじを右に回すと、障子は上がります。
上へ最大2.5mm



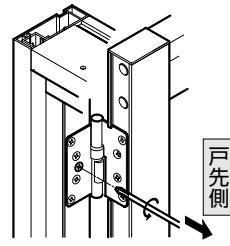
障子の戸先側のすき間が大きすぎる



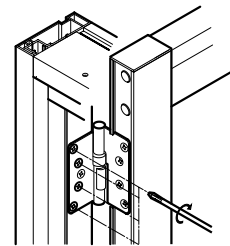
① 上下丁番の枠側ハネ内側4ヶの取付ねじを緩めておいてください。



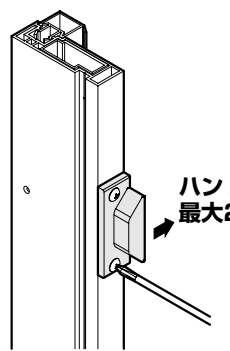
② 左右調整ねじを左に回すと障子が戸先側に移動します。
戸先側へ最大2.5mm



③ 障子の位置が決め、緩めておいた取付ねじを締め直してください。



カムラッチが空振りする

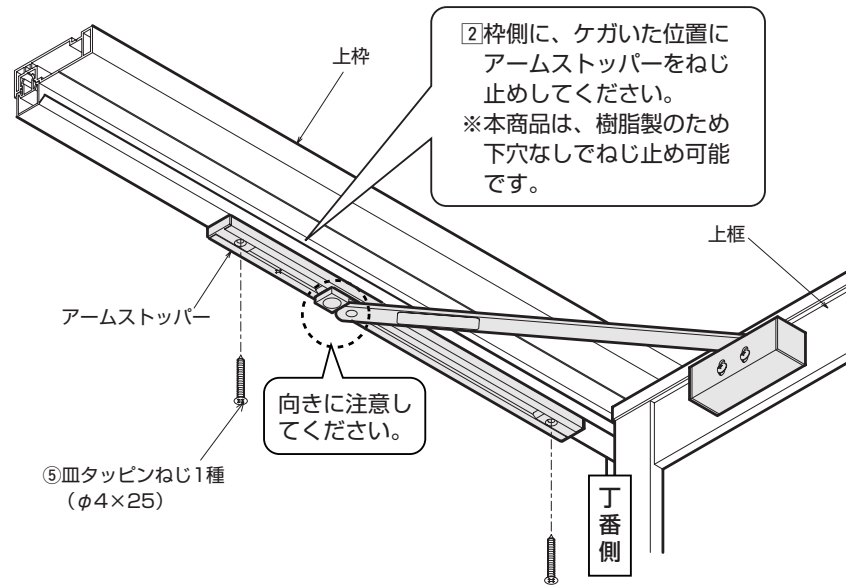
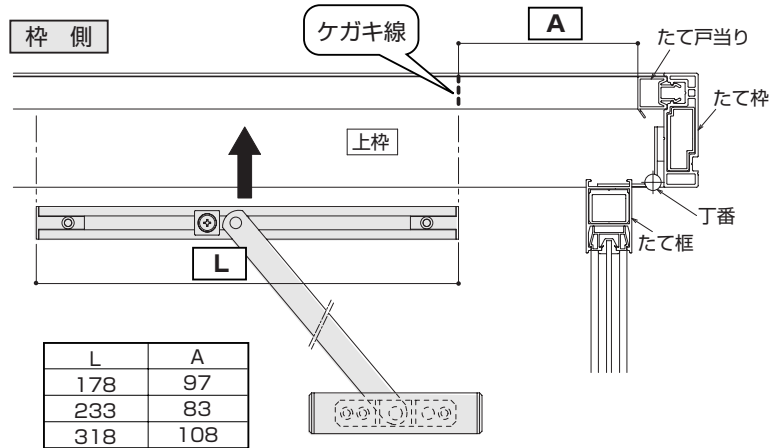


ハンドル側へ最大2mm

7. アームストッパーの取付

変更

① アームストッパー取付位置をケガいてください。



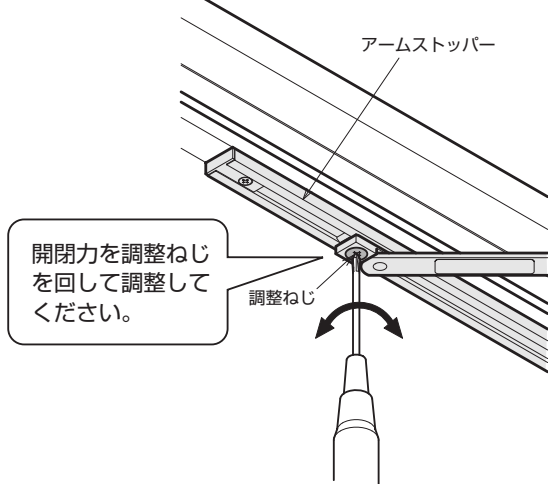
⑤ 皿タッピンねじ1種 (φ4×25)

向きに注意してください。

8. アームストッパーの調整

変更

開閉抵抗の調整



上下方向の調整

アームストッパーの枠側と障子側が干渉する時は、障子側の上下方向の調整を行ってください。

